

屋久島生態系モニタリング

屋久島南部植生垂直分布調査 (平成15年度調査)

・湯泊林道沿い(標高800m地点)

プロットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内に設定した。付近は、沢泊右岸の緩～急斜面である。プロットの南側は、いくつかの岩を経て小尾根になっている。小沢を挟んだ林道沿いには水道施設がある。

プロットの階層別植生は、高木層では、全体として植被率が低くなっている。おもな出現樹種は、シマスルスベリ・ヤクシマオナガカエデ・エゴノキ・バリバリノキで、個体数は少ないがハマセンダン・フカノキなども混生する。

亜高木層では、ハドノキが最も多く、ついでモクダチバナ・イヌビワ・アオガシの個体数が多い。他にはヒサカキ・シマスルスベリ・フカノキ・スタジイ・バリバリノキが生育する。個体数は少ないが、ミズパイ・ヤマビワ・イスノキなども出現する。

低木層では、モクダチバナが最も多いがバリバリノキ・ヒサカキ・ハドノキも多い。植被率は約10%と低いものの出現種数は多い。(24種)

草本層では、カツモイノデ・ヒロハノキリシタ・ホウビシタ・ヘツカシタ・リュウビシタ・ツルホロコケ・ヌカホシクリハラシなど、シダ植物が多い。シマズセンリョウ・ヤクシマアジサイ・ルリミノキ・フウトウカツラ・ヒメアリウシも個体数が多く植被率が高い。

西部議の自地城域の産自環境を今後

作行状れで究西ま性てま然交ルとも
業況まあ者部でが十で環換利維持
部こをのの地動ある勉経がさ作のして
会とな。ど見の等と強緯守れりに行
を終しが次、も見ののしやら、にく
了、ら回の参て研意認歴れ西つ方
し第一意は意考き究見識史て部い
ま一回交現がすい長、るにた域のの
目換地出べのさき研間れ要いれ自見



いんりよぞ製間鹿及へ次て工ら搬に材斜
いのまりれ一階の之び二年度いる・永入搬の面側
たごす現一段三沢西工度と木田資入の二区
たの地二月等箇所小側区用と製岳材入一部を
し理のに月に等所に屋斜のの永のる段を使し、(二
ますと、搬二のにから面の二田で等野年よの事
。ご登入〇資丸太永一箇所南。を更に施丸太部
協山保日材太田工区に東にに野度り業
力を管にを柵田岳区に石斜にに年度り業
をお皆てリそ・のの材面、し
願さあにれ木区の材

年告生開て損し見がれり部生し環
度の回催い・てらりに、特がた境こ
に全復した倒いれ等よ著有、たをの
木体事たこ木る、かるしの登め求工
柵計業専とのヒ優ら樹い大山高め事
工画計門か危メれ樹木土量者塚ては
等に画家ら険シた勢の壤のの降踏屋山生
を沿検に、にヤ景の根の流雨庄の者の
突っ討よ昨さラ観後の流雨庄の者の
施て会る年ら等を退浮出等や周がな
し、一度さが形等きとに山辺急自
、昨報植にれ枯成が上こよ岳植増然



木製歩道等実施予定箇所



高塚小屋

引継ぎ今年度は残設計画の植
生を回復する
平成10年3月
平成11年7月
平成12年10月
平成13年3月
平成14年7月
平成15年10月

工事中につき通行に注意して下さい。

高塚小屋周辺の植生回復措置の実施

屋久島の植物



テリハノイバラ (ばら科)

いらる約が縁る長低
。赤。三あに。鋸葉は地木本
。く果。実。花。歯。は。を、州
花熟しは、五、は、あり、こ、海以南
期は、球、形、cm、や、り、く、い、岸に分布
一、つで、白、大、面、は、厚、く、が、茎、は、葉
七月でも秋堅かあ、沢、あ

永田岳登山道周辺の植生回復措置を実施

い設計五年回山道登の
、計委員年度復道山荒本
昨をを委員年度すにをを
年二二ののののののの
度工工ののののののの
から区区にににににに
永分分分分分分分
田分分分分分分分
岳分分分分分分分
南分分分分分分分
東分分分分分分分
行分分分分分分分

屋久島自然休養林アンケート集計表

アンケート総数

40

ヤクスギランド

1. 性別	男	20	51%	4. どこを散策されましたか。	30分コース	4	10%
	女	19	49%		50分コース	8	20%
2. 年齢	～19	1	3%		80分コース	10	25%
	20～39	25	64%		150分コース	12	30%
	40～59	8	21%		その他	6	15%
	60～	5	13%				
3. 何人で散策されましたか、散策にガイドを利用されましたか。	1人	7	19%	5. 食事をどこでされましたか。	していない	25	69%
	2～4人	22	59%		森泉	4	11%
	5～10人	3	8%		仏陀杉周辺	2	6%
	11～20人	0	0%		苔の橋周辺	1	3%
	21人以上	5	14%		ツツジ河原周辺	1	3%
	ガイドあり	9	32%		清涼橋周辺	2	6%
	ガイドなし	19	68%		天文の森周辺	1	3%

6. 自然休養林内の施設について	(1) 散策道について	① 木道・石張りの散策道	歩きやすい	20	56%	要望	歩幅や段差があわない 木は雨で滑りやすい やり過ぎの箇所がある
			普通	12	33%		
			歩きにくい	4	11%		
		② 登山道を利用した散策道	歩きやすい	13	41%	要望	木の渡し板が滑るので、滑らないような工夫を 雨で滑る
			普通	16	50%		
			歩きにくい	3	9%		
	(2) 手摺について	① 手摺等の度合い(程度)について	多い	9	26%	② 手摺・ロープが必要と思われる箇所・要望	80分コース全体 ひげ長老付近
			適当	22	63%		
			少ない	4	11%		
	(3) 案内板等について	① 案内板等の設置状況について	多い	1	3%	② 案内板等が必要(不要)と思われる箇所・要望	樹木の説明 わかりにくい看板がある(太忠岳に入りそうになった) ひげ長老付近のルートがわかりにくい 清涼橋下の看板は無用 説明内容がわかりにくいので、イラストを入れてほしい 次のポイントまでOmとの表示がほしい
			適当	28	80%		
			少ない	6	17%		
	(4) 休憩所、ベンチについて	① 休憩所、ベンチの設置状況について	多い	3	9%	② 設置した方がよいと思う箇所	階段を上ったところ 散策がメインなのでこれ以上いらない 東屋が少ない 現状でもしかたない
			適当	22	65%		
			少ない	9	26%		

7. 自然休養林の利用方法について	(1) 「登山者のためのヤクスギマナーガイド」について	知っている	16	47%	要望	空港などに置いておいてほしい。			
		知らない	18	53%					
	(2) 屋久島自然休養林の利用マナーについて	① マナーガイドに記載されている利用マナーについて	有効回答数	30					
		ア 歩道から外れないで散策や記念撮影をした。	○	24	80%	ケ 溪流での遊泳はやめてください。	必要	9	31%
		イ 動植物を採ったり傷つけたりしないで觀賞した。	○	26	87%	コ 転落の恐れがある箇所には近づかないでください。	必要	17	59%
		ウ ゴミは捨てずに持ち帰った。	○	28	93%	サ 強雨時は早めに下山してください。	必要	19	66%
		エ 山の水は汚さないようにした。	○	26	87%	シ 頭上や足下には注意して散策してください。	必要	11	38%
		オ たき火やタバコの投げ捨てはしなかった。	○	27	90%	ス 食事は決まった場所ですべてしてください。	必要	20	69%
		カ ペット等の動物は持ち込まなかった。	○	26	87%	セ 植物の根は踏まないでください。	必要	17	59%
		キ サルやシカに餌を与えなかった。	○	26	87%	ソ 歩行中の喫煙はやめてください。	必要	17	59%
		ク 用便はトイレを使用した。	○	27	90%	タ 混雑した場所では譲り合ってください。	必要	12	41%
						チ ヤクスギの空洞に立入らないでください。	必要	19	66%
						ツ 看板、ベンチなどの設備は傷つけないでください。	必要	11	38%
	守れなかったマナーについて。	・歩道が分からない(ロープ等がない)ので、立ち入ってしまった。				要望・理由	看板はあまりいらない。マナーブック程度で 入山前に注意してほしい。		
		・トイレが我慢できなかった。							
		・どうなっているか見てみたかった。							
		・昼食時に歩道脇に出た。							
						この外、必要と思われるマナーがあれば記入してください。			
						自然を傷つけない			